

投資的事業評価調書（新規）

課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 高崎 伸彦 (藤原 謙治)	内線	4 4 4 4 (4 4 5 5)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	------------------------

事業種目	海岸事業	事業名 海岸侵食対策事業 内田海岸	事業区間 洲本市由良町内田	総事業費	約 9.4 億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
洲本市由良町内田				平成 1 5 年度	平成 2 1 年度
事業目的				事業内容	
侵食対策 ・当海岸では近年海岸線の侵食、後退が著しく、台風の来襲時等には越波とともに小石が打ち上がるほか、高波時にも越波が発生するなど住民の生活が脅かされており、早急に侵食対策を行い、背後の道路、民家等への越波被害を防止する必要がある。				消波堤	1,200 m
				養浜（れき浜）	275,000 m ³
評価視点					
(1) 必要性 安全・安心		国土保全の必要性： 海岸の侵食（年間約 0 . 5 m）防止を図る。 背後の道路、民家等への越波被害を防止し、安全・安心な海岸づくりを推進する。 想定防護区域 約 2 2 h a 想定防護人口 約 5 4 0 人			
地域の活性化		通学利用、観光利用がなされる主要地方道洲本南淡線の安全確保により、地域の活性化が図られる。			
快適性・ゆとり		当海岸の護岸沿いを通る主要地方道洲本南淡線は洲本市由良地区と同市中心部を結ぶ唯一の生活道路であり、通学路としても利用されている。また、背後には多くの民家、事業所等があり、これらを越波被害から護ることにより、住民の生活の快適性が向上する。			
その他		本事業箇所北側の海岸では、平成 8 ~ 1 3 年度に海岸侵食対策事業により整備を完了しており、本事業箇所を整備することにより、地域の一体的な防護が図られる。 地元から早期整備の要望が強い。			
(2) 有効性・効率性 有効性		費用対効果 B / C = 2 . 7 3 背後に民家、事業所等が建ち並んでおり、事業執行による効果は大きい。			
効率性		道路への越波防止により安全な交通が確保される。 既存の消波ブロックを活用することにより経済的に事業実施できる。 事業の執行環境上の問題はない。			
(3) 環境適合性		れき浜を整備することにより、多様な水生生物の生息環境が維持され、前面海域での水産活動との協調を図る。 既存の消波ブロックを転用し、資源の有効利用を図る。			
(4) 優先性		背後に民家、事業所があるとともに越波被害が頻発しており、早急に対策を講じる必要がある。 主要地方道の通行の安全性を確保するため早急な対策が必要である。			